



5/14

県知事市内視察



金子原二郎長崎県知事が、市内の民間企業や農・漁業施設および県営事業の現場など11か所について、事業の取組状況や市内の実情を把握するため視察を行いました。

また、県知事との意見交換会も開かれ、市長、市議会議長などと熱心な意見を交わしました。

金子知事からは、「今後とも、地域の皆さんの意欲的な取り組みを積極的に支援するとともに、今回いただいたご意見などについても、十分な検討を行い今後の県政に生かしたい」と話がありました。

5/21

県知事要望



金子知事からは特に②について「主要な道路については、できるだけ工事期間を短くして完成に近づきたい」などの回答がありました。

松本崇市長、廣瀬政和市議会議長をはじめ地元選出県議会・市議会議員などが県庁を訪れ、県の施策に関する市の要望・提案書を金子知事に提出しました。

今年の要望・提案の内容は①九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)の整備促進②都市計画道路の早期整備促進と県道認定③一般国道34号大村拡幅の事業促進④二級河川郡川改修事業の早期完成⑤長崎県立図書館の新設・移転⑥長崎空港A滑走路周辺地域の航空機騒音対策⑦閉鎖性海域(大村湾)の浄化⑧農業振興⑨「さくらの街おむら」の推進支援の9項目。

6/1

災害危険箇所視察



梅雨や台風季節の前に、県・市・消防・警察などの関係機関が、市内の災害危険箇所視察を行いました。

この日は福重地区の河川改修工事箇所と浸水想定区域を視察。関係者たちは、県央振興局担当者からの河川改修工事の概要説明を聞くとともに、よし川上流の浸水想定区域現況確認を行い、雨期を前にした相互の連携強化を確認しました。

6/1

次世代育成支援行動計画の策定作業部会委員が市長と意見交換会



市は、次代を担う子どもと子育て家庭に対する支援策、地域社会と行政の担うべき役割を示した次世代育成支援行動計画(後期計画)を現在策定中です。その策定作業を中心となって進めている作業部会委員の市民の皆さんが、市長と子育て支援に関する意見交換をする会が開かれました。

意見交換会では、子育て支援に対する市長の考え方を確認するとともに、現在の市におけるさまざまな課題などについて、活発な意見を交わしました。